

# ■コツチバチ科？

この間からハチの勉強を始めました。今回、先日廊下で見つけたハチについて科の検索してみました。まだ、合っているのやら、間違っているのやら、さっぱり分からない状態なのですが、とりあえず



ブログに載せてみます。そのつもりで見てくださいね。

今回対象にしたのはこんなハチです。体長は約10mm。大きくも小さくもない中型のハチです。採集してきて、「絵解きで調べる昆虫」に載っている検索表を用いて調べてみました。紆余曲折を繰り返しながら、やっとこさっとこのコツチバチ科に到達しました。

コツチバチ科に至る検索の項目だけを抜粋して書くと下の表のようになります。初めは胴体が細い細腰亜目からの出発です。それでは写真をお見せします。

Fig. 1は真上から撮ったところですが、腰が細いことはすぐに分かりますね。次の②は機能的な翅を持つことでこれもすぐに分かります。③はツノヤセバチ上科を除外する項目で、頭に棘がないのでこれもOKです。④は翅脈が発達し、後翅に翅脈で囲まれた室を持つというのもこの

## 細腰亜目

- ① 成虫の中体節と後体節の間は強くくびれる
- ② 機能的な翅を持つ
- ③ 頭頂は平坦で棘状の突起を持たない(ツノヤセバチ上科を除外)
- ④ 翅脈は発達する;後翅は閉じた室を持ち、前翅縁紋も明瞭(コバチ科、タマバチ科などを除外)
- ⑤ 後脚の転節は1節からなる(ヒメバチ上科などを除外)
- ⑥ 前胸背板の両側は後方に伸びて肩板に達するが胸部前気門を覆うことはない  
スズメバチ上科
- ⑦ 腰部に腹柄がない(アリ科を除外)
- ⑧ 前翅の第1中室は短い;前翅は縦に畳まれない(スズメバチ、ドロバチ科を除外)
- ⑨ 脚は短い;中胸側板は分割されない(ベッコウバチ科を除外)
- ⑩ 中胸腹板は後ろに伸長する;後胸の腹板は広がらず基節の付け根を覆わない(ツチバチ科を除外)
- ⑪ ♀の腹部と前伸腹節は融合しない;腹部第2節背板にフェルト状の毛線はない;  
♂の後翅には肛垂がある(アリバチ科を除外) コツチバチ科

図からすぐに分かります。ついでにFig. 2に翅の拡大図も載せておきます。

次の⑤は重要な項目で、これでスズメバチ、ミツバチ、アナバチと、ヒメバチ、カギハラバチ、ヤセバチを分けることになります。Fig. 3を見てください。

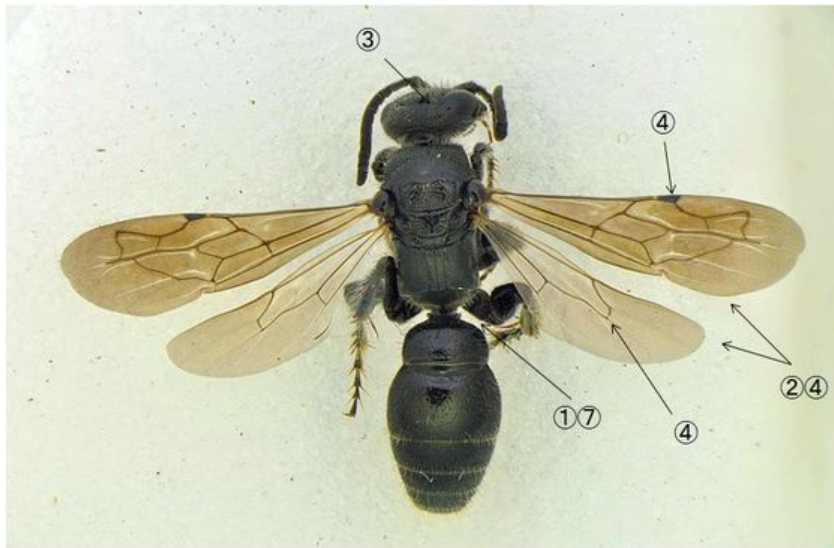


Fig. 1

これは後脚の基部を写したものです。腿節の根元に転節といるのがあります。初め、その手前にある基節も転節に数えていたので、道に迷ってしまいました。転節は基節と腿節の間の節なのです。これは1節からできていますので、スズメバチ上科などの方へ進みます。

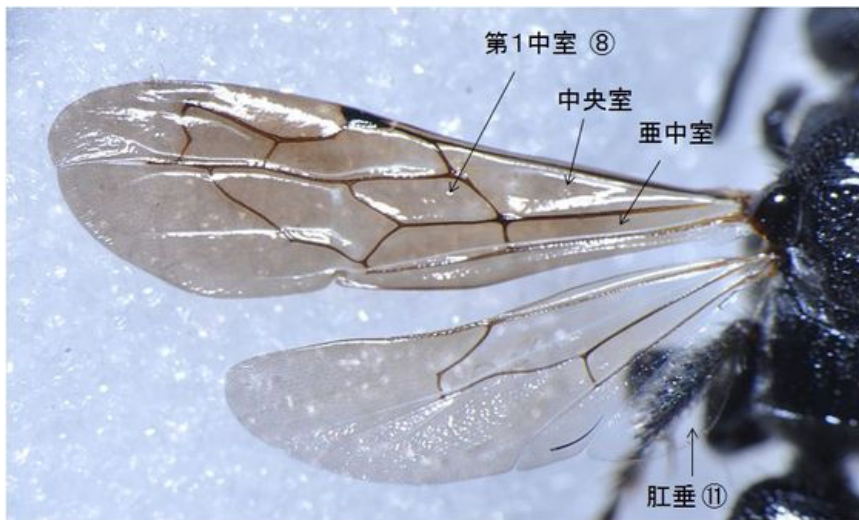


Fig. 2

次は前胸背板が肩板まで届くかどうかでこの辺りもよく分からず、迷ったところ。Fig. 4は横から写したのですが、前胸背板は図に示すように背から側面までを覆う広い部分です。確かにこの写真を見ると肩板に接しています。胸部前気門の

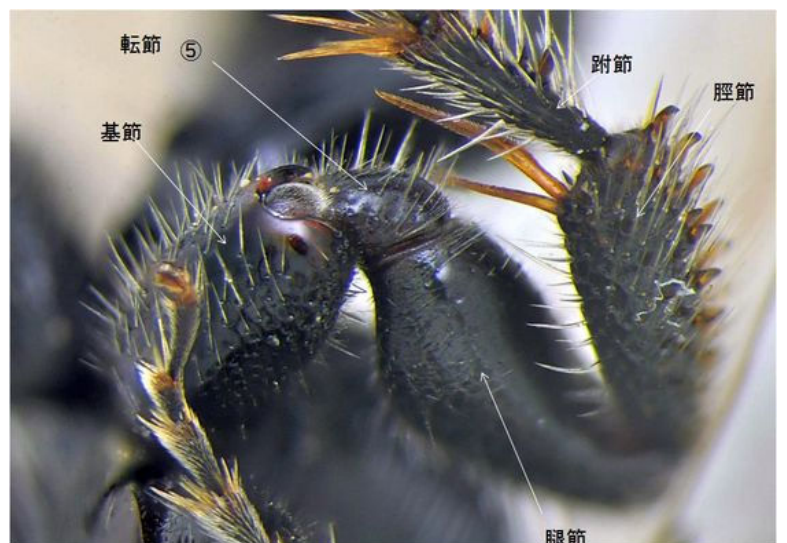


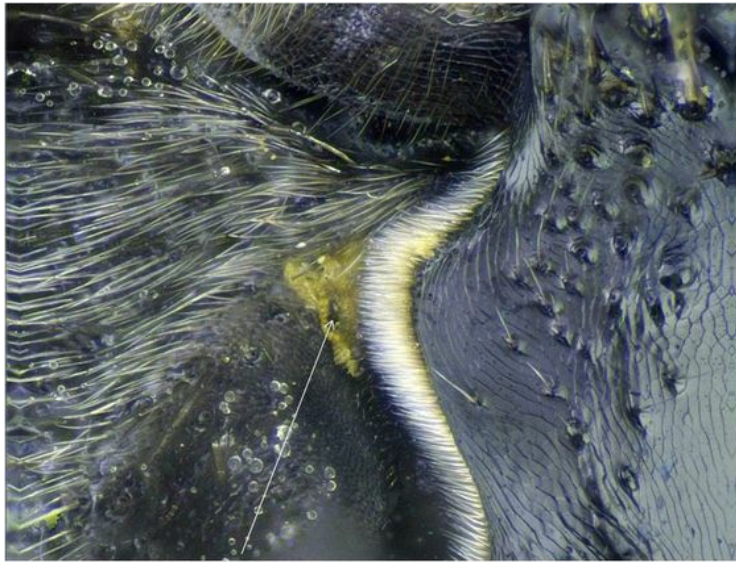
Fig. 3

位置がよく分からなかったのですが、前胸背板の縁に毛が多く生えていて、近くに色が黄色になっている部分があり、その部分がそうかなと思っています。その部分を拡大したものをFig. 5に載せます。何となく穴が開いていそうな感じですが、これが気門かなあと思うのですが、よく分かりません。いずれにしても⑥はOKにしておきます。⑦はアリののような腹柄がないことで、これもOKです。



Fig. 4

次の⑧は翅脈に関するものです。第一中室はP<sub>1</sub>に示している部分です。これが短いということですが、ちよつと抽象的な表現です。「原色昆虫大図鑑Ⅲ」の検索表では、「前翅の第一中室は短く、通常亜中室よりはるかに短い」となっている。ので、亜中室と比較すればよいようです。確かに短くなっています。次の「前翅は縦に畳まれない」もよく分かりません。翅を見ると白い筋が入っていて、これが折れ線だとすると縦に畳まれそうです。こ



前胸前気門? Fig. 5

れも「大図鑑」の検索表を見ると、「静止するとき、前翅は通常縦に畳まれない」となっている。止まっている時に畳まれないという意味のようです。最初の写真を見ると、畳まれていないようなので、これもOKだと思います。⑨はベッコウバチのようではないということを示しています。⑩はツチバチ科を区別する重要な項目です。腹部を見てみ



Fig. 6

ます。Fig. 6を見下さいます。この中胸腹板と後胸腹板の構造が特異的なようです。中胸腹板の両側が後ろに伸びています。また、後胸腹板の下に後脚基節が露出して見えます。こんな構造から、ツチバチ科とは区別できるようです。最後はアリバチ科との区別ですが、腹部第一節背板にフェルト状の毛線がないとい



Fig. 7

うのが一番わかり易い性質でした。また、後翅には肛垂という部分が確かにありますが、♀なのか♀なのかも分からないのでちよつとはつきりしません。いずれにしても、これでコツチバチ科らしいことが分かりました。「大図鑑」によると、コツチバチ科には、これまでに「亜科」属約30種が記録されているそうです。今回はここまでですが、今度はもう少し進んでみたいと思います。もっとも、



Fig. 8

この検索があつているとしての話ですが・・・。  
ついでに撮影した写真を載せておきます。Fig. 7は頭部の写真です。鋭い大顎ですね。Fig. 8は胸背の部分です。いろいろな構造や模様があるので、何に該当するのはよく分かりません。

勉強のつもりでハチの科の検索をしてみました。まだまだ用語がよく分からないので、四苦八苦しています。が、「絵解きで調べる昆虫」は絵解きなので、本当に助かります。図があつてもなかなか分からないものもあるので・・・でもめげずに頑張っていきます。(2015.4.15記)